

# タチカワレポート

## 第69期 中間報告

平成26年 1 月 1 日

平成26年 6 月 30 日



家庭に、企業に、都市の中に。  
 次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。  
 インテリア産業の一翼を担う企業として、  
 これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成26年6月30日をもって第69期（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）上半期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当該期間におきましては、個人消費において消費増税に伴う駆け込み需要の反動の持ち直しが見られるものの、不透明な環境を踏まえ、高機能製品の拡充や新たな販促物の投入とコスト低減に注力し、増収・増益を計上することができました。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成26年 9月

## CONTENTS 目次

経営者から皆様へ	1
営業の概況	2
セグメント別概況	3
当社グループの事業展開	4
New Products & Topics	5
株主様ご優待・ショールームのご案内	6
連結財務諸表（要旨）	7
会社の概要	9
株式情報	10
株式についてのご案内	

### 経営の基本方針

当社グループは、ブラインド類・間仕切類を事業の核とするインテリアメーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、お客様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策の効果により、企業収益が改善し、個人消費においても消費増税に伴う駆け込み需要の反動の持ち直しがみられましたが、新興国の成長鈍化等の海外景気の下振れリスク等があり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン減税の拡充や消費増税に伴う駆け込み需要等の要因により、春先までは堅調に推移しましたが、3月以降住宅着工戸数が前年同期比マイナスに転じるなど、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装具関連事業においては、新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、製品の付加価値を高める開発を進めるとともに、営業提案力を強化し、受注拡大に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客要求に沿った製品を積極的に提案するとともに、顧客拡大を目指して営業活動に力を入れてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,918百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は1,582百万円（前年同期比68.7%増）、経常利益は1,596百万円（前年同

期比59.2%増）、四半期純利益は862百万円（前年同期比72.2%増）となりました。

### 業績の見通し

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、景気の回復基調が続くことが期待されますが、海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクが存在し、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、引き続きお客様の多様なニーズに応えるため、積極的な製品開発を図るとともに、新製品発表会等を通して効果的な販促活動を行い、さらなる売上向上及び収益確保に努めてまいります。これらを踏まえ、平成26年12月期の通期の連結業績予想につきましては、期初の予想の通り、売上高40,200百万円、営業利益2,050百万円、経常利益2,120百万円、当期純利益1,030百万円を見込んでおります。

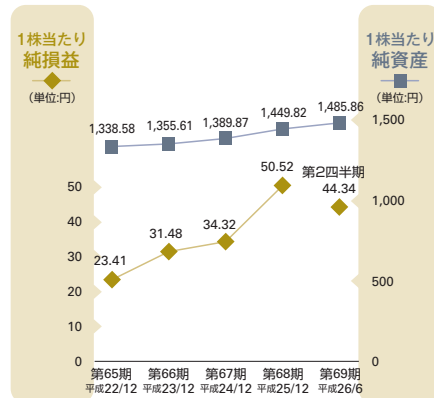
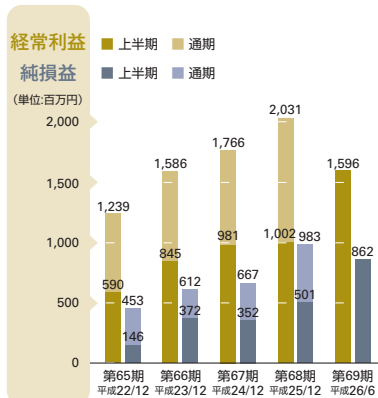
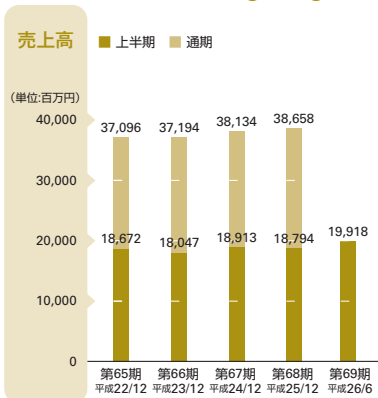
### 中間配当金について

中間配当につきましては、安定配当を維持する基本方針に沿って、例年通り1株につき5円とさせていただきます。

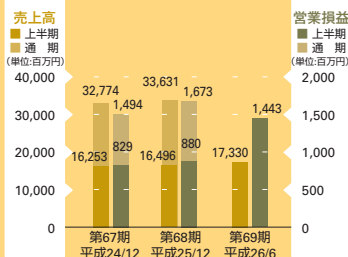
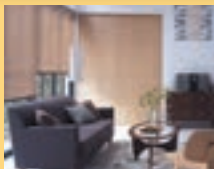
尚、期末配当につきましても同様に1株につき5円、年間10円の実施を現時点においては予定しております。

## Financial Highlights

### 財務ハイライト



## 室内 外装品 関連事業



**17,330**百万円

高い遮蔽性が好評の高機能ブラインド「パーフェクトシルキー」において、ブラインドの基本性能「採光・遮蔽」に加え、「上部採光」「下部採光」と3つのスタイルへの切り替えが出来る「スリーウェイ」を発売したほか、小さいお子様がいらっしゃるご家庭や施設でも安心してご使用していただけるカーテンアクセサリ「チャイルドセーフティ房掛・タッセル」を発売するなど、顧客満足度の向上と製品の安全対策にも取り組んでまいりました。(同製品は「第8回キッズデザイン賞」を受賞しました。)

また、住宅の窓まわりにおすすめの製品を1冊にまとめた販促物「ホームセレクションブック」を作成し、市場拡大に取り組んだほか、5月から全国30都市において「Next 一より快適な居住空間へ」をテーマとした新製品発表会を開催し、新製品等の早期市場浸透に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は17,330百万円(前年同期比5.1%増)となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による一層の収益改善に努めた結果、1,443百万円(前年同期比64.0%増)となりました。

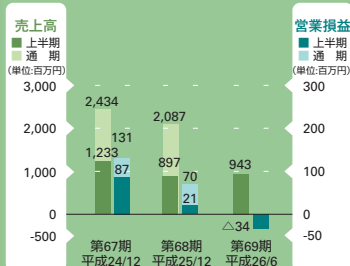
87.0%

連結セグメント別  
売上高構成比

合計  
**19,918**百万円

## 駐車場装置関連事業

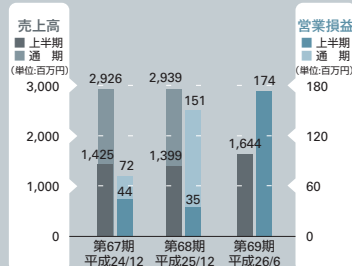
**943**百万円



大型物件の新設着工が伸び悩む中、ユーザー別の提案型営業を強化し、メンテナンス部門が順調に推移したことにより、売上高は943百万円(前年同期比5.2%増)となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減に努めましたが、材料費及び外注費の高騰を補えず、34百万円の損失(前年同期は21百万円の利益)となりました。

## 減速機関連事業

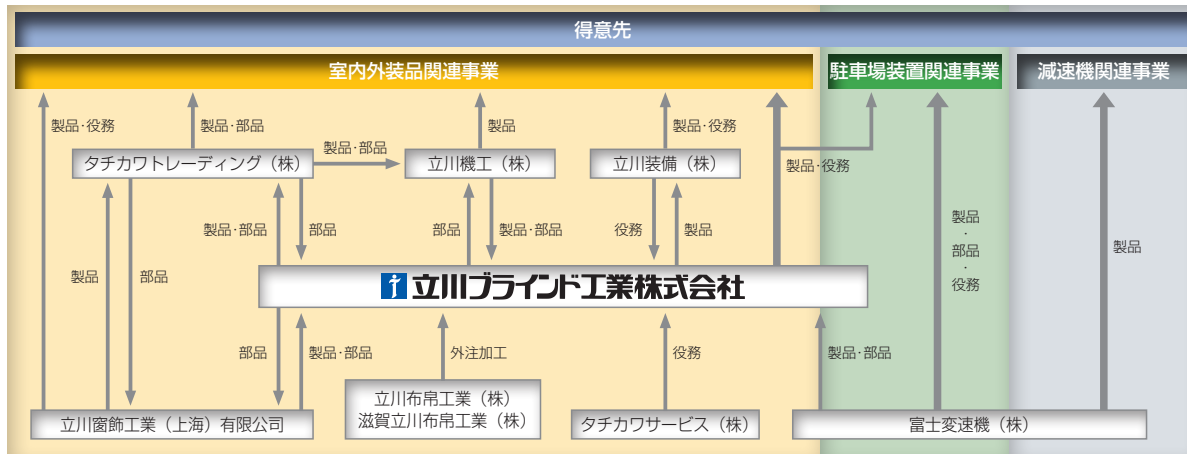
**1,644**百万円



首都圏で開催された展示会に出展するなど、顧客ニーズの把握や製品認知度の向上に努め、積極的な営業活動を展開したことにより、売上高は1,644百万円(前年同期比175%増)となりました。営業利益につきましては、売上高増加に加え、原価低減に努めたことにより、174百万円(前年同期比387.7%増)となりました。

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

>> 事業の系統図



(注) 富士変速機（株）は名古屋証券取引所に上場しております。

>> 主なグループ会社

**立川機工株式会社**

本社所在地：千葉県山武市  
資本金：3億円  
事業内容：ブラインド、間仕切等の部品  
およびカーテンレールの製造販売

**立川装備株式会社**

本社所在地：東京都渋谷区  
資本金：3億円  
事業内容：ブラインド、間仕切等の据付  
および関連製品の販売

**富士変速機株式会社**

本社所在地：岐阜県岐阜市  
資本金：25億750万円  
事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置  
および間仕切の製造販売

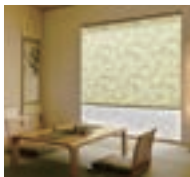
>> 事業展開の課題

- ブラインド群等の主力製品の強化と継続的な新製品開発に傾注する。
- ホームユース市場における製品の拡充と市場浸透を図る。
- カーテンレール事業に関して、全般的なクオリティの向上を推進する。
- 機械式立体駐車装置の製造・販売に加え、メンテナンス事業を強化する。
- コスト低減活動を推進し、工場等の体質革新を行い収益向上を図る。
- 製品の品質、安全性はもとより、多様化するニーズや高齢化社会への対応、環境への配慮など、継続的顧客満足を目指す。
- グループ全体の経営資源の効果的な投下と経営の迅速化を図る。

## New Products

### ブリーツスクリーン「ペルレ」生地ラインナップ拡充 2月 新販促物「ホームセレクションブック」登場 3月

昨年発売したブリーツスクリーン「ゼファー」・「フィユ」で展開している意匠性の高いデザイン生地「和歌」「和美」（11柄27アイテム）をブリーツスクリーン「ペルレ」にもラインナップする他、省エネ生地（2柄3アイテム）も追加し、全55柄302アイテムの多彩な生地を、多様なニーズに合わせ提案します。



ファブリック製品からブラインド・カーテンレールまで、住宅の窓まわりにおすすめの9製品を1冊にまとめた新販促物「ホームセレクションブック」を展開しました。



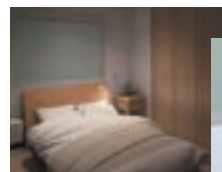
### チャイルドセーフティのカーテンアクセサリを新発売 4月 ロールスクリーン「ラルク」に「遮光ガイドレール仕様」新発売 4月



「第8回キッズデザイン賞」を受賞しました。

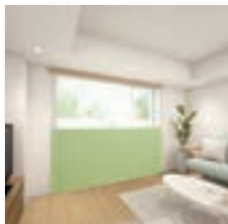
カーテンを束ねるタッセルによるお子様の事故を未然に防ぐため、カーテンアクセサリ房掛「モデラ」「タクト」「イーズ」、タッセル「クルミ」を発売しました。小さなお子様がいらっしゃるご家庭や施設などにおいても、安全、安心にご利用いただける新アイテムです。

ロールスクリーン「ラルク」標準タイプに、密閉性を高めた新構造のガイドレールにより、遮光性と断熱性に優れた「遮光ガイドレール仕様」を新たに追加しました。高い遮光性を求めるビジネスホテルや会議室、住宅の寝室、プライベートを確保したい空間に最適です。



### パーフェクトシルキー標準タイプ「スリーウェイ」新発売 6月 「アコーディオンカーテンワンタッチ」新発売 7月

高い遮蔽性が好評の高機能ブラインド「パーフェクトシルキー」において、ブラインドの基本性能「採光・遮蔽」に加え、「上部採光」「下部採光」と3つのスタイルへの切り替えができる「スリーウェイ」を新たにラインナップに追加し、発売しました。



床にレールがなく引き戸感覚で開閉できるアコーディオンカーテンに、グリップを引くコード引きタイプで簡単に開閉できる「アコーディオンカーテンワンタッチ」を発売しました。

### 新販促物「ファブリックシーズンブック -ファン・エブリデー-」登場 7月



「毎日過ごす場所で毎日を楽しもう!」をコンセプトに、多彩なデザイン生地や質感豊かなプレーン生地を発売し、ロールスクリーン「ラルク」とタテ型ブラインド「ランドレープ」で展開します。また、新販促物「ファブリックシーズンブック -ファン・エブリデー-」を作成し、自然のぬくもりが感じられ、ナチュラルなインテリアに合う心地よい質感やデザインで、窓辺から暮らしを楽しむファブリックを提案してまいります。

## Topics

#### ○「R+T Asia 2014」に出展（3月）

海外において、中国（上海）で開催されたアジア最大級のシャッター・ブラインド・門扉の展示会である「R+T Asia 2014」に3年連続出展。日本製品のブラインド認知度のさらなる向上に努めてまいります。



## 株主様ご優待

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資の魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

当社の株式を300株以上ご所有いただきますと、年に1回所有株式数・保有期間に応じたクオカードを贈呈しております。

また、平成26年6月末基準日より株主優待制度を拡充し、当社製品ご購入後に1台あたり2,000円分のクオカードを贈呈する優待制度を新たに実施いたします。

### ① オリジナルクオカードの贈呈（300株以上保有の株主様）

基準日：12月末日（年1回）

所有株式・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	3年未満	3年以上
300株以上	500株未満	1,000円分	1,500円分
500株以上	1,000株未満	2,000円分	2,500円分
1,000株以上		3,000円分	4,000円分



【優待内容】クオカード（イメージ）

### ② 当社対象製品ご購入優待（100株以上保有の株主様）【新設】

基準日：6月末日・12月末日（年2回）

当社製品をご購入いただいた株主の皆様へ保有株式・台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈

当社製品購入  
1台あたり  
クオカード  
2,000円分  
贈呈



【優待内容】クオカード（イメージ）

## ショールームのご案内

G I N Z A

銀座

タチカワショールーム



タチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネートの提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。ご相談の予約は下記で承っておりますので、お気軽にお電話下さい。



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル  
TEL (03) 3571-1373  
定休日 月曜・祝祭日(土・日を除く) 営業時間 10:00~18:00  
JR・銀座線新橋駅より徒歩6分 銀座4丁目交差点より徒歩8分

## ショールーム一覧

新宿ショールーム	東京都渋谷区代々木2-16-4 タチカワ新宿ビル1F TEL (03) 3375-7071 定休日 水曜・祝日(土日除く) 営業時間 10:00~18:00
仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00
名古屋ショールーム	愛知県名古屋市中区西区堀玉3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
大阪ショールーム	大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F TEL (06) 6374-1813 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:30
高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
上海ショールーム	上海市徐匯区宜山路290号 TEL +86-21-5396-6803
札幌ディスプレイスペース (展示品に制限があります)	北海道札幌市中央区南2西12-325-3 タチカワフラインド札幌支店3F 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
信越ディスプレイスペース (展示品に制限があります)	新潟県新潟市東区大形本町1-2-23 TEL (025) 270-8111 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
横浜ディスプレイスペース (展示品に制限があります)	神奈川県横浜市中区大通15 2F TEL (045) 662-0838 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:30

# 連結財務諸表（要旨）

## >> 連結貸借対照表

（単位：千円） （単位：百万円）

科目	当第2四半期 平成26年6月30日現在	前 期 平成25年12月31日現在	増減（△）
<b>資産の部</b>			
流動資産	28,360,276	27,911,849	448
固定資産	17,338,530	17,647,975	△ 309
<b>資産合計</b>	<b>45,698,807</b>	<b>45,559,825</b>	<b>138</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	9,362,295	9,757,639	△ 395
固定負債	3,250,244	3,437,954	△ 187
<b>負債合計</b>	<b>12,612,539</b>	<b>13,195,594</b>	<b>△ 583</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	28,608,054	27,842,600	765
資本金	4,475,000	4,475,000	—
資本剰余金	4,395,000	4,395,000	—
利益剰余金	20,404,792	19,639,199	765
自己株式	△ 666,738	△ 666,599	△ 0
その他の包括利益累計額	309,672	374,150	△ 64
少数株主持分	4,168,540	4,147,479	21
<b>純資産合計</b>	<b>33,086,268</b>	<b>32,364,231</b>	<b>722</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>45,698,807</b>	<b>45,559,825</b>	<b>138</b>

### 総資産

総資産は45,698百万円で、前連結会計年度末と比較し138百万円の増加。

流動資産は448百万円増加。主に、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は309百万円減少。主に、減価償却等による有形固定資産の減少および保有株式の時価の下落等による投資有価証券の減少によるものです。

### 負債

負債は12,612百万円で、前連結会計年度末と比較し583百万円の減少。主に、支払手形及び買掛金、未払金および退職給付引当金が減少したことによるものです。

### 純資産

純資産は33,086百万円で、前連結会計年度末と比較し722百万円の増加。主に、四半期純利益によるものです。なお、自己資本比率は63.3%と、前連結会計年度末と比較し、1.4ポイントの増加。

### キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、9,014百万円。

#### 【営業活動】

574百万円の増加。税金等調整前四半期純利益1,594百万円に対し、法人税等の支払額509百万円、売上債権の増加額309百万円、たな卸資産の増加額306百万円等による減少があった一方で、減価償却費448百万円等による増加があったことによるものです。

#### 【投資活動】

345百万円の減少。有形固定資産の取得による支出296百万円、無形固定資産の取得による支出35百万円等があったことによるものです。

#### 【財務活動】

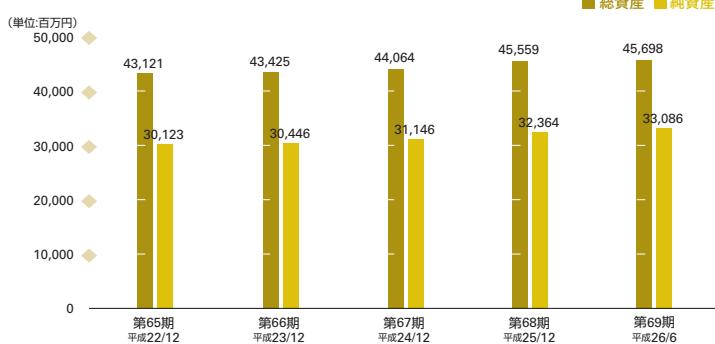
165百万円の減少。配当金の支払い119百万円によるものです。

## >> 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当第2四半期 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	前第2四半期 平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで	前 期 平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	574,038	695,621	1,369,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 345,667	△ 597,145	△ 942,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 165,870	△ 164,655	△ 331,994
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 13,134	3,118	54,479
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	49,366	△ 63,061	148,923
現金及び現金同等物の期首残高	8,965,297	8,816,373	8,816,373
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	<b>9,014,663</b>	<b>8,753,312</b>	<b>8,965,297</b>

## >> 総資産／純資産





## >> 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	前第2四半期 平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで	前期 平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで
売上高	19,918,344	18,794,171	38,658,731
(前年同期比)	(6.0%)	(△ 0.6%)	(1.4%)
売上原価	11,312,466	10,975,804	22,713,320
売上総利益	8,605,878	7,818,367	15,945,410
販売費及び一般管理費	7,023,354	6,880,493	14,049,688
営業利益	1,582,524	937,873	1,895,722
(前年同期比)	(68.7%)	(△ 2.5%)	(11.6%)
営業外収益	82,563	121,697	253,923
営業外費用	68,952	56,744	117,665
経常利益	1,596,134	1,002,827	2,031,980
特別利益	339	248	7,583
特別損失	1,770	3,396	19,594
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,594,704	999,679	2,019,968
法人税、住民税及び事業税	554,458	335,922	817,186
法人税等調整額	133,007	140,245	143,887
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	907,238	523,512	1,058,894
少数株主利益	44,333	22,289	75,547
四半期(当期)純利益	862,904	501,222	983,346

## >> セグメント情報

(単位：千円)

当第2四半期 平成26年1月1日から平成26年6月30日まで	室内外装品関連事業	駐車場装置関連事業	減速機関連事業
売上高	17,330,219	943,885	1,644,238
(前年同期比)	(5.1%)	(5.2%)	(17.5%)
営業利益	1,443,159	△34,932	174,297
(前年同期比)	(64.0%)	(—)	(387.7%)

### ■ 営業成績の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策の効果により、企業収益が改善し、個人消費においても消費増税に伴う駆け込み需要の反動の持ち直しがみられましたが、新興国の成長鈍化等の海外景気の下振れリスク等があり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン減税の拡充や消費増税に伴う駆け込み需要等の要因により、春先までは堅調に推移しましたが、3月以降住宅着工戸数が前年同期比マイナスに転じるなど、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収

益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、製品の付加価値を高める開発を進めるとともに、営業提案力を強化し、受注拡大に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客要求に沿った製品を積極的に提案するとともに、顧客拡大を目指して営業活動に力を入れてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,918百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は1,582百万円(前年同期比68.7%増)、経常利益は1,596百万円(前年同期比59.2%増)、四半期純利益は862百万円(前年同期比72.2%増)となりました。

## ■ 会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業（般-22）第5037号 建具工事業（般-22）第5037号 機械器具設置工事業（般-22）第5037号 建築工事業（特-22）第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話	(03) 5484-6140
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,222名 単体794名 ※パート・契約社員等を除く

## ■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン（横型）ブラインド、 パーチカル（縦型）ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

## ■ 連結会社

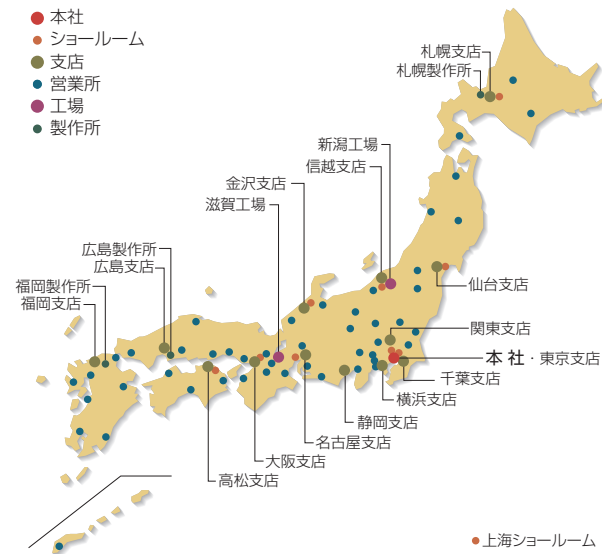
国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワトレーディング株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	立川窗飾工業（上海）有限公司 上海市嘉定区葉城路1630号

## ■ 取締役および監査役

代表取締役社長	立川 光 威
取締役	竹中 伸 也
取締役	成瀬 義 弘
取締役	山本 浩 司
取締役	鈴木 博
取締役	金箱 聡
常勤監査役	河原 隆
※ 監査役	坪井 節 子
※ 監査役	高橋 勇 三

(注) ※印の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## ■ 当社ネットワーク



■ 株式の状況

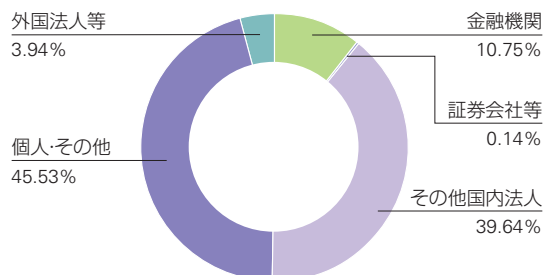
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	6,552名

大株主および持株数（上位10名）

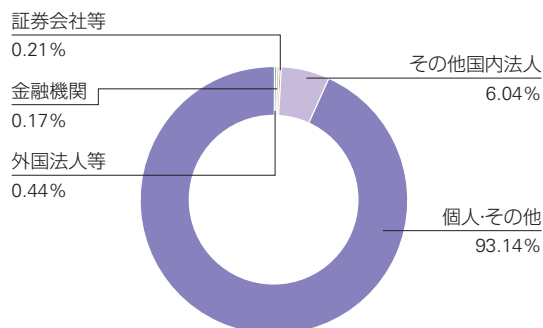
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.20
タチカワブラインド取引先持株会	2,134	10.99
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.85
立川 溥	572	2.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	553	2.85
タチカワ社員持株会	487	2.51
株式会社りそな銀行	460	2.37
立川 光威	453	2.34
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	408	2.10
日本生命保険相互会社	391	2.02

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。  
 (注) 2. 当社は自己株式1,301千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

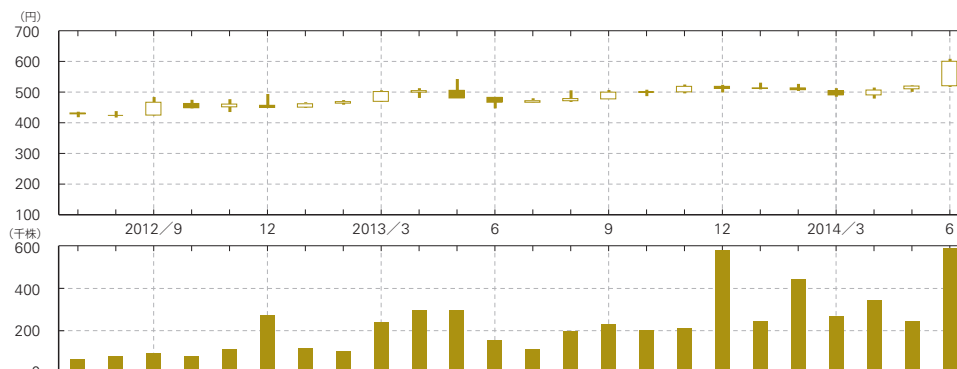
■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



■ 株価および出来高の推移



当社ホームページでは決算短  
信などのIR情報や、当社事業  
や製品・サービスなどさまざま  
な情報を発信しております。

<http://www.blind.co.jp>



## 株主優待のご案内



【優待内容】クオカード（イメージ）



### ① オリジナルクオカードの贈呈（300株以上保有の株主様）

基準日：12月末日（年1回）

所有株式・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	
	3年未満	3年以上
300株以上 500株未満	1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満	2,000円分	2,500円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分

### ② 当社対象製品ご購入優待（100株以上保有の株主様）【新設】

基準日：6月末日・12月末日（年2回）

当社製品をご購入いただいた株主の皆様へ保有株式・台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈

事業年度 1月1日～12月31日

定時株主総会 毎年3月

定時株主総会基準日 12月31日

剰余金配当基準日 12月31日（期末配当）  
6月30日（中間配当）

公告方法 電子公告によります。  
公告掲載URL

<http://www.blind.co.jp/koukoku/>

※事故その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 証券代行部

特別口座管理機関 日本証券代行株式会社

単元株式数 100株

#### 登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。  
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

#### 配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。  
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

#### 未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

#### 単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。  
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

#### 特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

注）特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

## >> 郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人	特別口座管理機関
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711（フリーダイヤル） ホームページアドレス <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a>	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843（フリーダイヤル） ホームページアドレス <a href="http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html">http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html</a>